

職場体験記

10月に行われた職場体験で実際に中学生が取材し作成した記事を掲載します。

鶴居中学校の2年生は10月18日(火)～19日(水)に、村内各地で職場体験学習を行いました。今回の学習は仕事をする中での喜びや苦勞などを体験し、改めて自分自身を見直すという目的で行われました。この記事では、私たちが職場体験で学ばせていただいたことについて紹介します。

釧路丹頂農業協同組合 A コープ鶴居店

A コープ鶴居店には2名が職場体験に行きました。主な仕事内容は、肉や魚などをパックに詰めたり、商品の品出しをしたりすること等でした。榎切澤陽詩さんは、肉のパック詰めで「こぼさないように気を付けている」と話していました。



ふるさと情報館みなくる

ふるさと情報館みなくるには3名が職場体験に行きました。担当の方に、どこにどんな本があるのかを教わりながら図書館内を回っている姿が見られました。村上未紘さんは「本をもとあった場所に戻すことが楽しい」と話していました。

NPO法人のんき工房

NPO法人のんきには2名が職場体験に行きました。パック詰めされた豆腐の容器をタオルで拭いたり、商品に賞味期限のシールを貼ったりしていました。この仕事はいろんな人と関わり合いながらできるそうで、職場の人たちと協力しながら作業を進めていました。谷口龍摩君は、「豆腐をパックに詰めるのが難しい」と話していました。



つるぼーの家

つるぼーの家には1名が職場体験に行きました。会計やアイスクリームの盛り付けなどを行っていました。会計では、間違えないように何度も確かめながら計算することが大事だということです。飯田晴子さんは「アイスクリームの盛り付けの時に徹底した衛生管理を心掛けている」と話していました。

鶴居保育園

鶴居保育園には3名が職場体験に行きました。子どもたちと一緒にダンスをしたり、絵本の読み聞かせをしたりなど、楽しそうに仕事をしていました。たくさんの子供たちを相手にする仕事は大変そうだと思います。



<編集後記>



私は今回の職場体験学習を通して、記事を作ることの難しさを知りました。各所での職場体験の様子をできる限りわかりやすく、早く作るのはとても大変でした。このような経験は、今後もあまりないと思います。なので、今回の活動を忘れず、将来、公務員として働くときにも活かしていきたいです。

(鶴中2年 堀切春洋)